



風の円居

2004.5-2005.5

所在地 岐阜県美濃市曾代88
岐阜県立森林文化アカデミー地内
建築面積 31.43㎡(9.49坪)
延床面積 17.00㎡(5.13坪)
設計・施工 岐阜県立森林文化アカデミー
木造建築スタジオ
山岸 恵子(四期生)
伊藤 秀昭(四期生)
今西 亨(四期生)
植村 千絵(四期生)
大野 晋平(四期生)
柘植 健太郎(四期生)
中尾 将典(四期生)
三澤 文子(教授)
小原 勝彦(講師)
辻 充孝(助手)

指導 松森建設
総工事日数 90日
参加総人数 119人(924人工)
総工事費 300万円

岐阜県立森林文化アカデミー 木造建築スタジオ
〒501-3714 岐阜県美濃市曾代88TEL 0575・35・
3889/FAX 0575・35・3890Mail
studio@forest.ac.jp/URL www.forest.ac.jp

地域社会に対応した木の空間

環境教育研究会の提供するカリキュラムには、グループカウンセリングやワークショップ論という科目がある。少人数で集い、寝食を共にし、何かをつくり上げていく集中講義である。このような活動にふさわしい場の提供の他、夏の子供のキャンプ、普段からの学生の利用も可能な多目的空間としてのあり方も求められた。10人程度が生火を見ながら円く座れるという要望を満たすと同時に多目的利用可能な空間をつくること、また、機械に頼った生活を見直し、本来の体と心の調節機能を回復させるため、自然環境から多くのものを取り込むことを考えた。



2004.07.02 敷地測量



2004.07.28 掘り方



2004.08.18 スラブ配筋



2004.09.28 建て方



2004.10.06 屋根仕舞い



2004.11.29 荒壁塗り



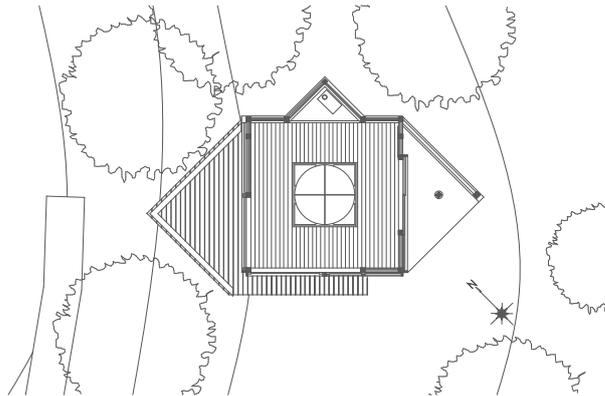
2005.04.28 デッキ張り



デッキからフォリーを見る



風の円居 竣工式



平面図 1/200

<建築計画>

○多目的な活動に対応できる流動的空間
グループカウンセリングとワークショップは活動形態により求められる空間は変化するため、可動床・机・棚の組み合わせによって空間の自由度を確保した。

○素材

なるべく建材を使わず、特に体に直接触れる部分は自然素材を使うこととした。

○自然エネルギー利用

冬…暖炉からの輻射熱を利用した採暖、床下の蓄熱
夏…斜面地の風を利用した自然換気

<構造・架構について>

平面計画において躯体を斜面方向に対して、45度振ることで、入れ子のような形となり、空間に衝突のエネルギーが生まれることを狙った。

ベタ基礎によって、木材の耐久性に寄与する。型枠として、廃棄物が発生しないよう、デッキプレートを用いた。

屋根架構をプランに対応させた形態とすることで、デッキ方向に視覚的の広がり生まれる。

特注鉄板製の換気扇枠を方形頂部に取付けることで隅木を4mで納めることが可能となった。



風の円居 北面外観 (テクニカルセンターより見る)